

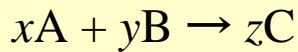
日付入れる
こと!

ボールペンで書くこと
(修正液は使わない)

2008. Mar. 15.

「NO₂ラジカルを利用したSWCNTの可溶化」

・計画



ビーカー① A....5 mg
B....3 mg) → 100°C
20 min

ビーカー② A....3 mg
B....5 mg) → 50°C
5 min

論文データも大事なところはコピーして貼付

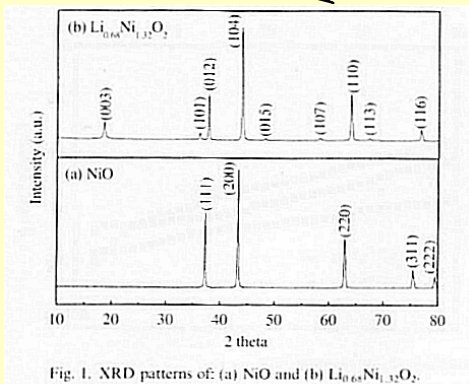


Fig. 1. XRD patterns of: (a) NiO and (b) Li_{0.64}Ni_{1.32}O₂.

XRD, Raman

今日は無理か?

$a=2.5, c=5.6 \text{ \AA}$

生成物CのXRD (T. Oka et al., JACS, 2225,222,(1999).

学生全員に3mm方眼のノートを配布します

・実験

合成 10:05スタート

ビーカー① すぐ変色 (黄→赤)

時間短くて良い?

ビーカー② 沈殿あり?

試料には必ず番号をつける。
同じ組成のものでも区別して管理。どの試料で何を測定したかトレース可能にしておく。

あとでデジカメ写真貼る!

実験条件は絶対忘れるからメモすべし!

17:35 XRD

ビーカー① MS#021 ファイル名:C-Mar15-01

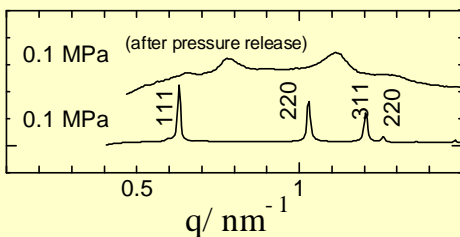
30 kV 10 mA, 0.02° 2 sec, スリット可変

19:06 ビーカー② MS#022 ファイル名:C-Mar15-01

30 kV 10 mA, 0.02° 2 sec, スリット可変

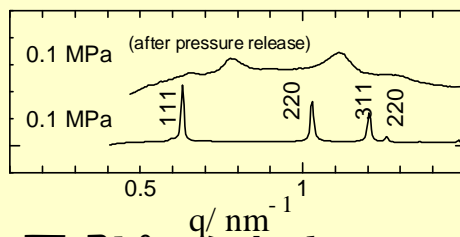
とったデータ貼付

MS#021



合成成功?

MS#022



不明ピークあり

反応時間足りない?

やること: 生成物の格子定数決定

結果のまとめと次回の課題整理やって実験終了